

来街者の行動からみた商店街の空間構成に関する研究

大分大学工学部 福祉環境工学科福祉建築コース
1036014 奥 隆司

研究の背景

中心市街地活性化のために、商店の魅力向上は不可欠である

研究の目的

○ 商店街において、物的空間構成要素がどのように配置されているかを把握し、**人の行動に基づいた商店街の使われ方**を明らかにする。

商店街空間とそこで行われる行動によって…

1. 空間構成を把握
2. 行われる行動の分類
3. 空間構成と行動の関係
4. 来街者の行動分布から見た大分市内 3つの商店街の特徴を明らかにする。

研究の方法

○ 商店街の物的空間構成要素を抽出する
来街者の行動を把握する

来街者の行動から物的空間構成要素を分類する

来街者の行動に基づいた商店街の類型化を行う

商店街の物的空間構成要素の抽出

調査方法

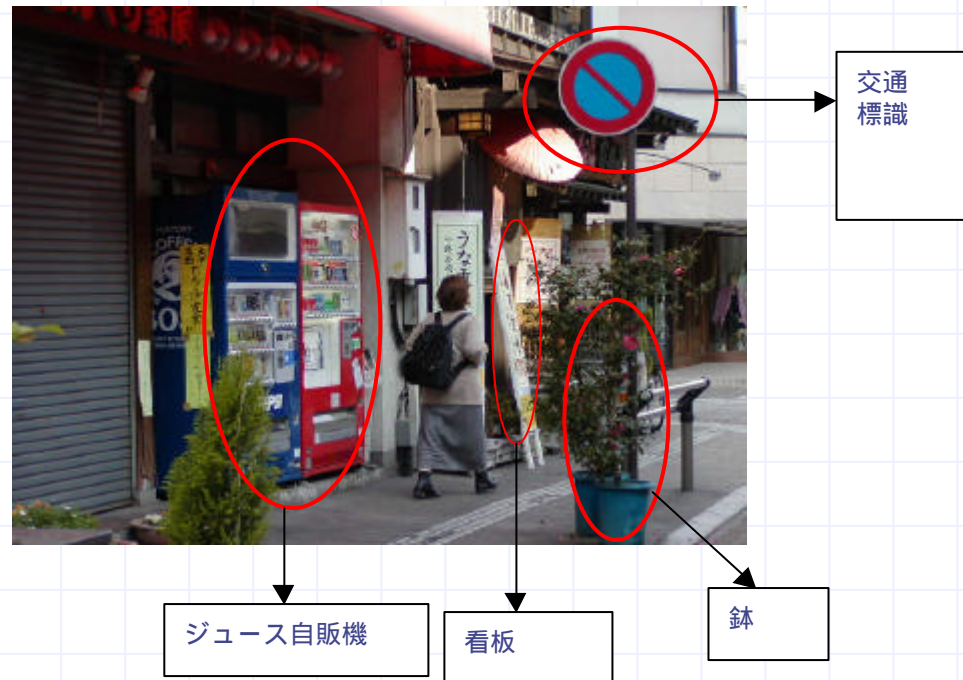
写真撮影により商店街にある物的空間構成要素を抽出

調査場所

府内五番街

ガレリア竹町

セントポルタ中央町



商店街の物的空間構成要素の抽出

表 1、物的空間構成要素

	大分類	小分類	空間構成要素
休憩要素	A	1	ベンチ(移動可)
	A	1	ベンチ(常設)
	A	1	イス
	A	1	テーブル
植栽	B	1	木
	B	1	プランター
	B	1	鉢
	B	1	丸木
商品	C	1	商品
	C	1	ショーケース
	C	1	ワゴン
	C	1	ハンガー
	C	2	メニュー表
	C	2	看板
	C	2	旗
	C	2	案内板
	C	2	商店街共通の看板
	C	2	テレビ
	C	2	テレビゲーム
	D	2	自販機タバコ
D	2	自販機ジュース	
設備	D	1	ごみ箱
	D	1	灰皿
	E	1	照明分電機
	E	1	発電機
	E	1	SW(電気系統)
	E	1	TR(電気系統)
	E	1	消火栓
	E	2	電柱
	E	2	柱
	E	2	街路灯
	E	2	交通標識
	E	2	電話BOX
	F	1	車止め
	F	1	自転車止め
	F	1	ガードレール
	F	1	ガードポール
F	1	工事のコーン	
F	1	停車帯	
F	1	点字ブロック	
F	1	信号	
装飾	G	1	石碑
	G	1	イベント時モニュメント
	G	1	モニュメント
	G	1	船
	G	1	置物
	G	2	時計台
	G	2	時計
	G	2	時計

	大分類	小分類	空間構成要素		
休憩要素		D	1	ごみ箱	
		D	1	灰皿	
	植栽		E	1	照明分電機
			E	1	発電機
			E	1	SW(電気系統)
			E	1	TR(電気系統)
		E	1	消火栓	
設備			E	2	電柱
		E	2	柱	
		E	2	街路灯	
		E	2	交通標識	
		E	2	電話BOX	
	商品		F	1	車止め
			F	1	自転車止め
			F	1	ガードレール
			F	1	ガードポール
			F	1	工事のコーン
			F	1	停車帯
			F	1	点字ブロック
			F	1	信号
	装飾		G	1	石碑
			G	1	イベント時モニュメント
			G	1	モニュメント
		G	1	船	
		G	1	置物	
		G	2	時計台	
		G	2	時計	
		G	2	時計	

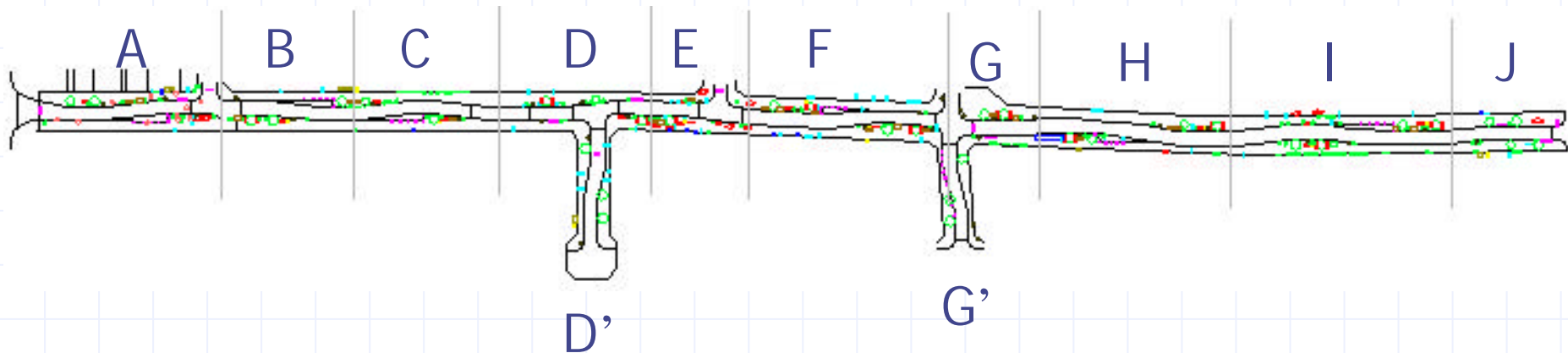
来街者の行動の把握

調査方法

商店街への来街者を対象に各調査ポイントを10分ずつ調査

調査日時

12月～1月の休日
13時～15時、17時から19時



来街者の行動の把握

調査ポイント	来街者の行動	流れ1止まる0	Communication A,B,C	消費行動への関係 a,b
A	写真を撮る	0	C	c
A	立ち止まって電話する			
A	竹で遊ぶ			
A	立ち止まり探す			
A	立ち止まる			
A	竹を見る			
A	銅像を見る			
A	メニューを見る	0	C	b
A	ショーケースを見る			
A	歩きながら喋る			
A	竹を見ながら歩く			
B	立ち止まって話す	0	C	b
B	メニューを見ながら話す			
B	立ち止まって電話する			
B	店に入るか悩む			
B	人をよける	0	C	b
B	オブジェの間をすり抜け			
C	ジュースを買う			
C	自転車を止める	1	C	c
C	竹を見て立ち止まる			
J	店を見ながら歩く			
J	竹を見て立ち止まる			
J	看板を見る			
J	隙間を抜ける			
J	竹をよける			
J	街灯をよける			
J	飾りを見ながら歩く			
J	竹の間をすり抜ける			
J	店を見ながら歩く			
J	店を見ながら歩く			

停留 流動

停留

0

流動

1

コミュニケーション

その場にいる人

A

その場にはいない人

B

単独

C

消費行動への関係

強

a

弱

b

無し

c

来街者の行動分布に基づいた大分市商店街の特徴

府内五番街

五番街						
街区	停留・流動	コミュニケー	購買行動との関係性	模式図	度数	構成比
A	停留	その場	強	0-A-a	0	0.00%
			弱	0-A-b	0	0.00%
			無	0-A-c	1	9.09%
		いない	強	0-B-a	0	0.00%
			弱	0-B-b	0	0.00%
			無	0-B-c	1	9.09%
		単独	強	0-C-a	0	0.00%
			弱	0-C-b	2	18.18%
			無	0-C-c	5	45.45%
	流動	その場	強	1-A-a	0	0.00%
			弱	1-A-b	0	0.00%
			無	1-A-c	1	9.09%
		いない	強	1-B-a	0	0.00%
			弱	1-B-b	0	0.00%
			無	1-B-c	0	0.00%
		単独	強	1-C-a	0	0.00%
			弱	1-C-b	0	0.00%
			無	1-C-c	1	9.09%
計					11	100.00%

停留、単独、消費行動への関係なしという行動パターンが多く見られた街区

五番街						
街区	停留・流動	コミュニケー	購買行動との関係性	模式図	度数	構成比
B	停留	その場	強	0-A-a	0	0.00%
			弱	0-A-b	1	16.67%
			無	0-A-c	1	16.67%
		いない	強	0-B-a	0	0.00%
			弱	0-B-b	0	0.00%
			無	0-B-c	1	16.67%
		単独	強	0-C-a	0	0.00%
			弱	0-C-b	1	16.67%
			無	0-C-c	0	0.00%
	流動	その場	強	1-A-a	0	0.00%
			弱	1-A-b	0	0.00%
			無	1-A-c	1	16.67%
		いない	強	1-B-a	0	0.00%
			弱	1-B-b	0	0.00%
			無	1-B-c	0	0.00%
		単独	強	1-C-a	0	0.00%
			弱	1-C-b	0	0.00%
			無	1-C-c	1	16.67%
計					6	100.00%

全ての行動パターンがバランスよく見られ多種多様な行動が行われる街区

ガレリア竹町

ガレリア竹町						
街区	停留・流動	コミュニケー	購買行動との関係性	模式図	度数	構成比
A	停留	その場	強	0-A-a	1	7.69%
			弱	0-A-b	0	0.00%
			無	0-A-c	2	15.38%
		いない	強	0-B-a	0	0.00%
			弱	0-B-b	0	0.00%
			無	0-B-c	0	0.00%
		単独	強	0-C-a	1	7.69%
			弱	0-C-b	3	23.08%
			無	0-C-c	3	23.08%
	流動	その場	強	1-A-a	0	0.00%
			弱	1-A-b	1	7.69%
			無	1-A-c	0	0.00%
		いない	強	1-B-a	0	0.00%
			弱	1-B-b	0	0.00%
			無	1-B-c	0	0.00%
		単独	強	1-C-a	1	7.69%
			弱	1-C-b	0	0.00%
			無	1-C-c	1	7.69%
計					13	100.00%

ガレリア竹町						
街区	停留・流動	コミュニケー	購買行動との関係性	模式図	度数	構成比
C	停留	その場	強	0-A-a	0	0.00%
			弱	0-A-b	0	0.00%
			無	0-A-c	0	0.00%
		いない	強	0-B-a	0	0.00%
			弱	0-B-b	0	0.00%
			無	0-B-c	0	0.00%
		単独	強	0-C-a	7	43.75%
			弱	0-C-b	5	31.25%
			無	0-C-c	1	6.25%
	流動	その場	強	1-A-a	0	0.00%
			弱	1-A-b	0	0.00%
			無	1-A-c	0	0.00%
		いない	強	1-B-a	0	0.00%
			弱	1-B-b	0	0.00%
			無	1-B-c	0	0.00%
		単独	強	1-C-a	0	0.00%
			弱	1-C-b	3	18.75%
			無	1-C-c	0	0.00%
計					16	100.00%

消費行動への関係もあり停留する行動パターンが多い街区

消費行動への関係が強く、停留・流動行動のパターンが多い街区

セントポルタ中央町

セントポルタ中央町						
街区	停留・流動	コミュニケーション	の購買行動と関係性	模式図	度数	構成比
A	停留	その場	強	0-A-a	0	0.00%
			弱	0-A-b	0	0.00%
			無	0-A-c	0	0.00%
		いない	強	0-B-a	0	0.00%
			弱	0-B-b	0	0.00%
			無	0-B-c	1	14.29%
		単独	強	0-C-a	0	0.00%
			弱	0-C-b	0	0.00%
			無	0-C-c	1	14.29%
	流動	その場	強	1-A-a	0	0.00%
			弱	1-A-b	0	0.00%
			無	1-A-c	1	14.29%
		いない	強	1-B-a	0	0.00%
			弱	1-B-b	0	0.00%
			無	1-B-c	1	14.29%
		単独	強	1-C-a	0	0.00%
			弱	1-C-b	2	28.57%
			無	1-C-c	1	14.29%
計					7	100.00%

消費行動の関係が少なく流動する行動パターンが多い街区

セントポルタ中央町						
街区	停留・流動	コミュニケーション	の購買行動と関係性	模式図	度数	構成比
C	停留	その場	強	0-A-a	1	10.00%
			弱	0-A-b	0	0.00%
			無	0-A-c	0	0.00%
		いない	強	0-B-a	0	0.00%
			弱	0-B-b	0	0.00%
			無	0-B-c	1	10.00%
		単独	強	0-C-a	4	40.00%
			弱	0-C-b	1	10.00%
			無	0-C-c	0	0.00%
	流動	その場	強	1-A-a	0	0.00%
			弱	1-A-b	0	0.00%
			無	1-A-c	0	0.00%
		いない	強	1-B-a	0	0.00%
			弱	1-B-b	0	0.00%
			無	1-B-c	1	10.00%
		単独	強	1-C-a	0	0.00%
			弱	1-C-b	0	0.00%
			無	1-C-c	2	20.00%
計					10	100.00%

消費行動への関係が強く停留する行動パターンが多い街区

総括

各商店街を物的空間構成要素がどのように配置されているかを把握し、人の行動分布に基づいた商店街の特徴を導出した。

府内五番街

多種多様な行動を誘発する商店街である。

ガレリア竹町

消費行動を停留しながら行う行動を誘発する商店街である。

セントポルタ中央町

流動行動を誘発し、消費行動にも関係性が強い商店街である。